

感染状況・医療提供体制の分析

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	現在の数値 (7月13日公表時点)	前週との比較	(参考) 緊急事態宣言 下での最大値	項目ごとの分析※3		
感染状況	①新規陽性者数	168.4人		167.0人 (4/14)	<p>総括コメント 感染が拡大していると思われる</p> <p>ただし、第一波（3月から緊急事態宣言解除まで）とは年齢層や重症度等の感染者の特徴に相違がある。</p> <p>個別のコメントは別紙参照</p>		
	潜在・市中感染	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数	66.3件			114.7件 (4/8)	
		③新規陽性者における接触歴等不明者	数	77.3人			116.9人 (4/14)
			増加比	198.2%			281.7% (4/9)
		検査体制	④検査の陽性率（PCR・抗原）	6.1% (検査人数2651.7人)			31.7% (4/11)
医療提供体制	受入体制	⑤救急医療の東京ルール※2の適用件数	30.6件		100.0件 (5/5)	<p>総括コメント 体制強化が必要であると思われる</p> <p>重症患者数が未だ増加していないことから、判定を先週と同じ段階に留めた。</p> <p>個別のコメントは別紙参照</p>	
		⑥入院患者数 (病床確保レベル1 →中等症のみレベル2)	651人 (1000床 →2800床)		1413人 (5/12)		
		⑦重症患者数 (ICU等又は人工呼吸器管理が必要な患者) (病床確保レベル1)	6人 (100床)		105人 (4/28,29)		

※1 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※3 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照